

3×3 競技規則 2015（簡易版）準用

※青書き部分が KBA 独自ルール

ゲームの開始	じゃんけんで勝ったチームが攻撃側でチェックボールしてからゲームを開始する。
競技時間とゲームの勝敗 (得点の上限)	試合時間は1ピリオド ランニングタイムの8分間 (残り1分を切ったらフリースロー及びボールデッド時に時間を止める) 競技時間が終了した時点で得点の多いチームが勝ち ※どちらかのチームが21点以上得点した場合、その時点でノックアウト勝利
延長	先に2点を得点したチームの勝ち(この際、21点ルールは適用にならない。) ※1分間のインターバルの後に延長をおこなう。
得点	ツーポイントラインの内側からのショットによるゴールは1点(女性は2点) ツーポイントラインの外側からのショットによるゴールは2点(女性は3点) フリースローによる得点は1点
ショットクロック	14秒(リセットの考え方は通常バスケットボールと同じ)
ショット動作中のファウルで 与えられるフリースロー	ツーポイントライン内側でのショット時のファウルは1個のフリースロー (女性は2個) ツーポイントライン外側でのショット時のファウルは2個のフリースロー (女性は3個)
チーム・ファウルによる罰則 (7、8、9回目)	ショット時でないファウルであっても、ファウルを受けたチームは2個のフリースローが与えられる。 ツーポイントラインの内側からのショットに対するファウルにもこの罰則は適用される。(ショットがカウントでも2本のフリースローを与える) ※オフェンス・ファウルには適用しない。
チーム・ファウルによる罰則 (10回以上)	ショット時でないファウルであっても、ファウルを受けたチームは2個のフリースローが与えられ、さらに、ボールの所有権も与えられる。 ツーポイントラインの内側からのショットに対するファウルにもこの罰則は適用される。(ショットがカウントでも2本のフリースローを与え、ボールの所有権も与える) ※オフェンス・ファウルには適用しない。
テクニカルファウル/アン スポーツマンライク・ファウル による罰則	テクニカルファウル:ファウルを受けたチームは1個のフリースローが与えられ、そのフリースローの成否にかかわらず、攻撃権が与えられる。 アンスポーツマンライク・ファウル:ファウルを受けたチームは2個のフリースローが与えられ、2投目のフリースローの成否にかかわらず、攻撃権が与えられる。 ※オフェンス・ファウルには適用しない。
フィールドゴールが成功した ときのボール所有権	守備側だったチームが攻撃側となりゲームを再開させる。 ※エンドラインの外側に出る必要はない あらたに攻撃側になったチームは、リングの下からドリブルあるいはパスによってボールを一度ツーポイントラインの外まで運ばなければならない。 あらたに守備側になったチームは、ボールが“ノー・チャージ・セミサークル”の外に出るまではボールに対してプレイをしてはならない。
守備側がリバウンド、スティール したとき	ドリブルまたはパスなどによって、ボールを一度ツーポイントラインの外まで運ばなければならない。
ノット・クリア・ザ・ボール	上記の通り、ボールの所有権が変わった際に、ツーポイントラインの外側までボールを運ばずに、ショットをしてしまった際にはヴァイオレーションである。 ショットをしたときに、ヴァイオレーションとなるので、ショット以外のプレイ(パスやドリブル、フェイク等)をしているときにはヴァイオレーションにはならない。 その際には、審判は片腕を掲げ、左右に振ることで、まだボールがツーポイントラインの外側に運ばれていないことを選手に伝えなくてはならない。
ボールがデッドになったときの ボール所有権	コート内のツーポイントライン外側の頂点付近で、守備側になるチームの選手が攻撃側になるチームの選手にボールをパスあるいはトスして渡しチェックボールゲームを再開する。
ジャンプ・ボール(ヘルドボール) のとき	守備側だったチームのボールとなり、チェックボールでゲームを再開する。
個人ファウルと退場	アンスポーツマンライク・ファウルを2個、または、ディスクォリファイリング・ファウルを宣された選手は退場となる。 ただし、個人のパーソナルファウルはカウントしない。
選手交代 ※交代はプレイに関係なく 自由にすることができる	交代する選手は、コートから退く選手がコートから出る際にタッチ等の身体接触を交わしてからゲームに入ることができる。審判やTOに選手交代を伝える必要はない。
タイムアウト ※タイムアウトはプレイに関係 なく自由に 取る ことができる	1チーム1回60秒 ※延長時限ではタイムアウトを取ることはできない。

※「ツーポイントラインの外に出る」というのは、ボールを持った選手のどちらの足もツーポイントラインの内側についていない状態を指す。  
※ 上記競技規則は3×3ルールを分かり易く要約したものであり、競技規則はFIBA3×3 2015 競技規則を参照すること。